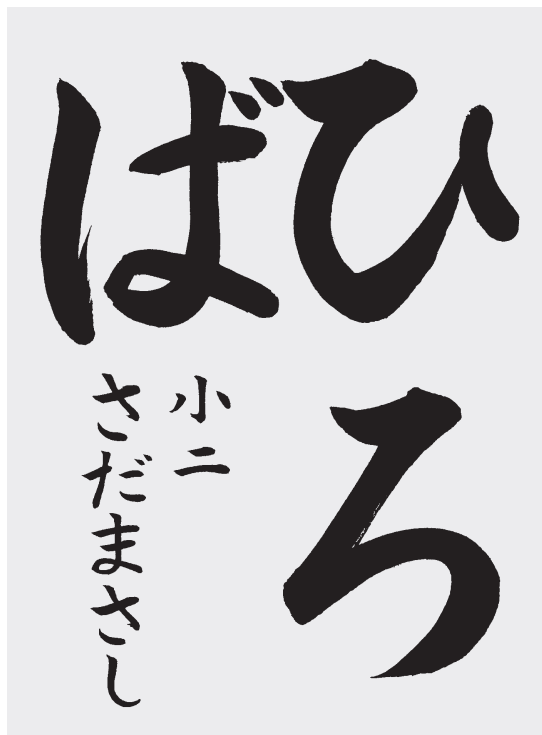


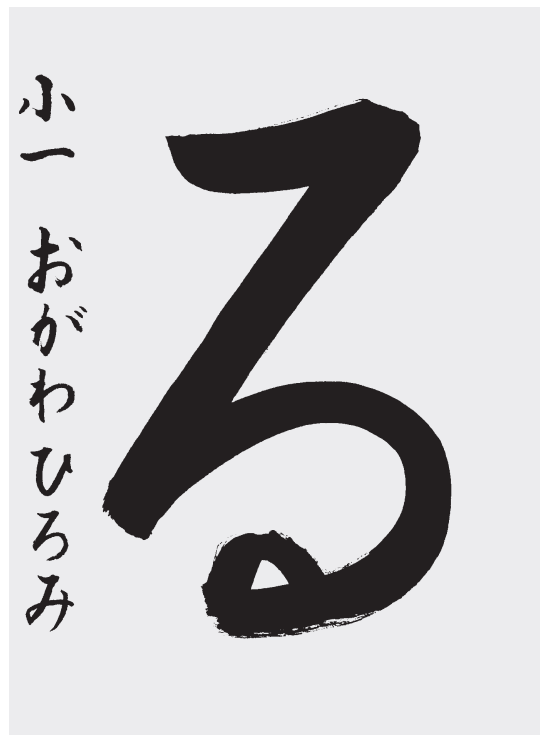
〔9月10日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。  
(幼・小1の方は、学年を書かなくてもよい。)

小学2年参考手本



大平 邑峰 先生

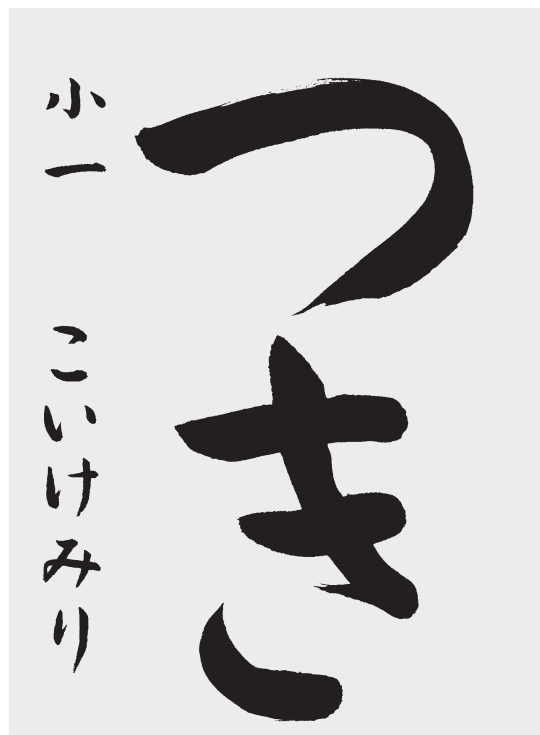
幼・小学1年参考手本



小川 弘舟 先生



大隅 晃弘 先生



小池 蹊舟 先生

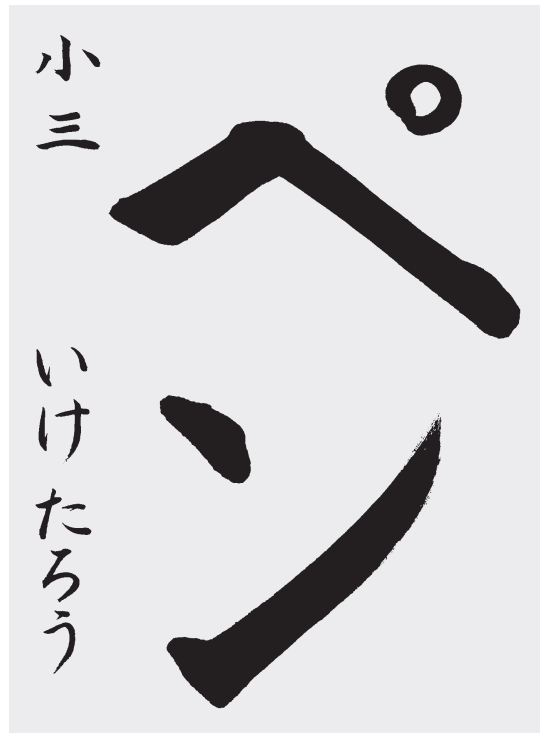
〔9月10日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学4年参考手本



小浜大明先生

小学3年参考手本



川村美泉先生



名越蒼竹先生



柳橋香仙先生

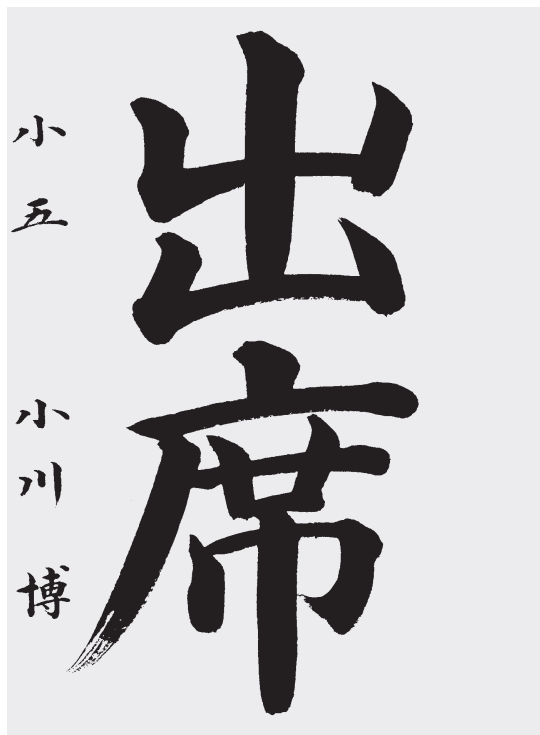
〔9月10日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学6年参考手本



小竹石雲先生

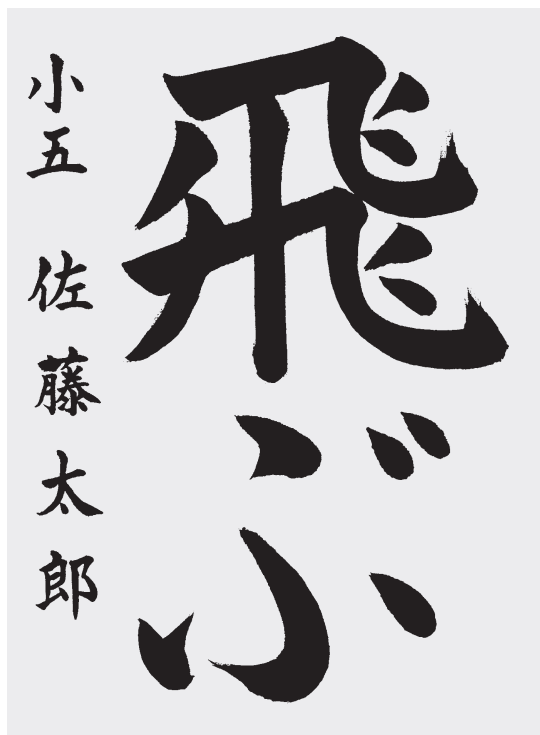
小学5年参考手本



川島舟錦先生



田守光昭先生



佐藤菜扇先生

〔9月10日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

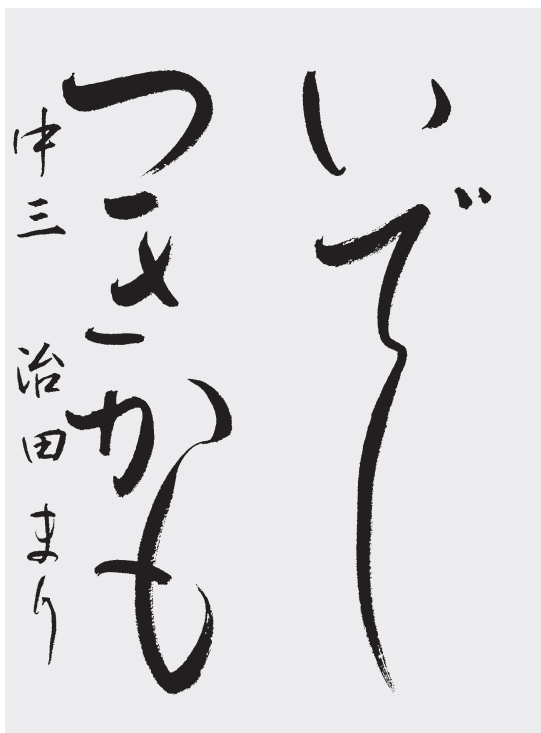
中学全学年参考手本（中学生は、どの課題を書いてもかまいません。）



辻元大雲先生



東福青篁先生



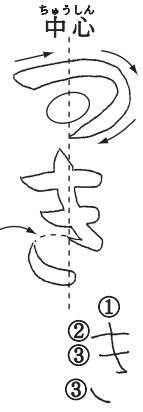
下谷洋子先生



小林琴水先生

毛筆参考手本解説(1)

1年

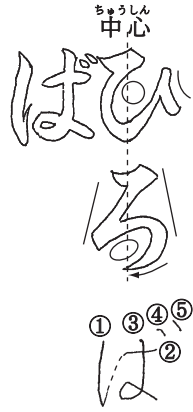


〈ひつじゅん〉

次へつながる  
気持ちで

川川  
幾幾  
々々

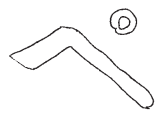
2年



〈ひつじゅん〉

比比  
呂呂  
波波  
は

3年

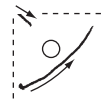


下から時計まわり

半濁点  
はんたくとん



部: ㇇



〈ひつじゅん〉

ニ千禾和秒秋



左を長く

4年



〈筆順〉

一十才木竹林

払いを下げない

長く

間かくに注意



〈筆順〉

しんによう  
すこしあげる

ンン首首道道



〈筆順〉

ノクタ外外

左払いは  
下を長く



〈筆順〉

口冂冂国国国

たて画が出る  
垂直にする

5年



〈筆順〉

一十出出

たて画が出る



〈許容〉

巾止め

〈筆順〉

一广广席席

すこし内へ



〈筆順〉

てて飛飛飛

そる

〈許容〉

点の方向

# 毛筆参考手本解説(2)

6年

中学

中心  
正  
横線はややそらす  
一丁下正  
筆順

中心  
倉  
筆順  
八△合合倉倉

中心  
院  
3画...  
ルの始筆は  
横画の下に浅く接する  
β(こざとへん)

※正倉院は奈良市の東大寺大仏殿の北西に位置する、校倉造(あぜくらづくり)の高床式倉庫です。

中心  
名月

次につながる  
気持ちで

行書のポイント  
行書の特徴として点画が連続することがあります。

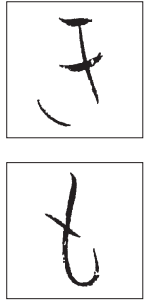
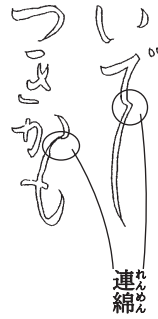
月

中心  
清  
許容  
はなす  
払  
さんずいは2画めが  
左側に

筆順  
清

いでし  
つきかも

百人一首  
天の原ふりさけ見れば  
春日なる三笠の山に  
出でし月かも



(参考:平安時代の書から)  
昔は「き」を「千」  
「も」を「も」と書く  
こともありました。

## ひらがなの字源 (311)

も	か	き	つ	し	で	い	源字	字形
毛	加	幾	川	之	天	以	源字	字形
も	か	き	つ	し	で	い		

※源字については、異字体から変遷したものに\*印を付して( )にその字体を記した。  
※字形は古筆から抽出した。上段には源字に近い草仮名を配し、中・下段にはその変遷過程等を配した。

書写教育  
全国大学書写書道教育学会編より転載



〔9月10日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学 4 年

小学 3 年

支 部 名			
段・級			
学 年	四		
名 前	武市七海		
	いに走り出した。	変わると、車がいつせ	大通りの信号が青に

支 部 名			
段・級			
学 年	三		
名 前	式地和人		
	注意して聞こう。	友だちの意見を、	

※予告の9月号硬筆課題小4「大道り」を「大通り」に訂正します。ご迷惑をおかけしました。

中心

〈筆順〉  
十 土 丰 丰 丰 走

中心

はねる  
「とめ」「はね」「はらい」に気をつけましょう。

中心

「口」をへん平に  
一画で書く

「信号」  
字形を整えて、ていねいに書きましょう。

〈筆順〉  
一 尸 門 門 門 聞

短く

「立」「目」「心」の組み立てをバランス良く書く。

「意見」  
分間を整えて、つりあいよく書きましょう。



〔9月10日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学 6 年

小学 5 年

支部名			
段・級			
学年	六		
名前	高坂万利		
	左の所にあります。	展示室に入っ て、すぐ	考古資料室は、 常設

支部名			
段・級			
学年	五		
名前	倉森紅		
	授業で学 習した。	和紙作りだ と社会科の	この町の伝 統工芸は



中心  
八面目のはらいを長めに  
小さく



右が出る  
下が出る

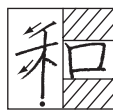


とめ  
はらい

『考古資料室』  
特に「とめ」「はね」「はらい」をていねいに書きましょう。



はらう  
点の位置と方向に注意



禾(のぎへん)を大きく  
「口」の位置と大きさに気をつ  
けて



し(浮鷺・鷺鳥が池に浮かんで  
いるようす)の書き方に注意。

『和紙作り』  
「へん」と「つくり」の組み立てをつりあい  
よく字形を整えましょう。

〔9月10日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

中学生（行書）

中学生（楷書）

支 部 名				
段・級				
学 年	中三			
名 前	有田京子			

くことが大切です。

交換し、考えをさらに深めてい

「平和」について友達と意見を

支 部 名				
段・級				
学 年	中三			
名 前	有田京子			

くことが大切です。

交換し、考えをさらに深めてい

「平和」について友達と意見を

・行書のワンポイントアドバイス  
行書の特徴のひとつとして、点画の形や長さ、方向が変化することがあります。

（楷書）  
大。交。友。  
右払いが止めて次につる

（行書）  
大。交。友。  
許容… 止め

「平和」  
字形を正しく、行がゆがまないように書きましょう。

中心  
交換し、考えを  
やや内側に

中心  
換  
右上に払う  
左側を長く  
許容… 止め

# これからの作品締切日と課題

10月号～H30・3月号までの作品締切日と毛筆課題

※12月の締切日は5日です。注意して下さい。

中学生 (全学年共通)		小6	小5	小4	小3	小2	幼・小1	締切日	
広がる世界	紅葉	責任感	願い	町村	見方	もみじ	え	10月9日	10月
柿くえば鐘がなるなり 法隆寺	源氏物語	達人の技	夕焼け	時計	こん虫	月	よむ		
古都奈良	答案	筆の里	風景	成長	月光	えがお	は	11月8日	11月
やまのあきかぜ	自然科学	立派な人	連合	家族	大切	ダム	すみ		
見聞を広める	天守閣	飼育係	星ふる夜	仲間	広がり	つばさ	き	12月5日	12月
ころもうつなり	飛行機雲	喜びの声	成り立ち	冬こもり	安全	かもめ	ふゆ		
破竹の勢い	剛健	私の決意	百人一首	生きる力	いぬどし	おせち	ね	1月9日	1月
ふじのたかねに	晴耕雨読	豊かな夢	理想	初春	自由	年	もち		
美しい梅林	観測	常識	栄光	発表	よろこび	ゆびわ	せ	2月8日	2月
ゆきはつ	横断歩道	世界旅行	文庫	点画	図工	ポスト	やま		
不断の努力	古今集	希望の花	約束	お手伝い	花だん	きずな	む	3月8日	3月
菜の花は東に西に	平家納経	平和運動	周囲	美しい花	作文	ビデオ	てん		

10月号の硬筆課題 ※硬筆課題は、翌月課題のみ掲載しております。

※予告の9月号硬筆課題小4「大道り」を「大通り」に訂正します。ご迷惑をおかけしました。

<p>小 5</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>災</td><td>ニ</td></tr> <tr><td>訓</td><td>ュ</td></tr> <tr><td>練</td><td>ー</td></tr> <tr><td>の</td><td>ス</td></tr> <tr><td>過</td><td>番</td></tr> <tr><td>程</td><td>組</td></tr> <tr><td>が</td><td>で</td></tr> <tr><td>特</td><td>、</td></tr> <tr><td>集</td><td>防</td></tr> <tr><td>さ</td><td></td></tr> </table>	災	ニ	訓	ュ	練	ー	の	ス	過	番	程	組	が	で	特	、	集	防	さ		<p>幼・小1</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>ほ</td><td>と</td></tr> <tr><td>ん</td><td>し</td></tr> <tr><td>を</td><td>よ</td></tr> <tr><td>よ</td><td>か</td></tr> <tr><td>も</td><td>か</td></tr> <tr><td>う</td><td>ん</td></tr> <tr><td>。</td><td>で</td></tr> </table>	ほ	と	ん	し	を	よ	よ	か	も	か	う	ん	。	で	<p>小 6</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>選</td><td>最</td></tr> <tr><td>んで</td><td>も</td></tr> <tr><td>、</td><td>険</td></tr> <tr><td>単</td><td>しい</td></tr> <tr><td>独</td><td>道</td></tr> <tr><td>で</td><td>す</td></tr> <tr><td>山</td><td>じ</td></tr> <tr><td>登</td><td>を</td></tr> <tr><td>り</td><td></td></tr> </table>	選	最	んで	も	、	険	単	しい	独	道	で	す	山	じ	登	を	り		<p>中学生</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>昔</td><td>は</td><td>十</td><td>月</td><td>の</td><td>こ</td><td>と</td><td>を</td><td>神</td><td>無</td><td>月</td><td>(</td><td>か</td><td>ん</td><td>な</td></tr> <tr><td>づ</td><td>ぎ</td><td>)</td><td>と</td><td>呼</td><td>び</td><td>ま</td><td>し</td><td>た</td><td>。</td><td>急</td><td>速</td><td>に</td><td>季</td><td>節</td><td>が</td></tr> <tr><td>う</td><td>つ</td><td>ろ</td><td>う</td><td>頃</td><td>で</td><td>す</td><td>。</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	昔	は	十	月	の	こ	と	を	神	無	月	(	か	ん	な	づ	ぎ	)	と	呼	び	ま	し	た	。	急	速	に	季	節	が	う	つ	ろ	う	頃	で	す	。								
災	ニ																																																																																																					
訓	ュ																																																																																																					
練	ー																																																																																																					
の	ス																																																																																																					
過	番																																																																																																					
程	組																																																																																																					
が	で																																																																																																					
特	、																																																																																																					
集	防																																																																																																					
さ																																																																																																						
ほ	と																																																																																																					
ん	し																																																																																																					
を	よ																																																																																																					
よ	か																																																																																																					
も	か																																																																																																					
う	ん																																																																																																					
。	で																																																																																																					
選	最																																																																																																					
んで	も																																																																																																					
、	険																																																																																																					
単	しい																																																																																																					
独	道																																																																																																					
で	す																																																																																																					
山	じ																																																																																																					
登	を																																																																																																					
り																																																																																																						
昔	は	十	月	の	こ	と	を	神	無	月	(	か	ん	な																																																																																								
づ	ぎ	)	と	呼	び	ま	し	た	。	急	速	に	季	節	が																																																																																							
う	つ	ろ	う	頃	で	す	。																																																																																															
<p>小 2</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>ぼ</td><td>く</td></tr> <tr><td>は</td><td>、</td></tr> <tr><td>手</td><td>紙</td></tr> <tr><td>が</td><td>来</td></tr> <tr><td>。</td><td></td></tr> </table>	ぼ	く	は	、	手	紙	が	来	。		<p>小 3</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>家</td><td>を</td><td>出</td><td>て</td><td>、</td><td>線</td><td>路</td><td>ぞ</td></tr> <tr><td>い</td><td>に</td><td>歩</td><td>き</td><td>ま</td><td>し</td><td>た</td><td>。</td></tr> <tr><td>。</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	家	を	出	て	、	線	路	ぞ	い	に	歩	き	ま	し	た	。	。								<p>小 4</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>待</td><td>ち</td><td>合</td><td>わ</td><td>せ</td><td>場</td><td>所</td><td>は</td><td>、</td></tr> <tr><td>バ</td><td>ス</td><td>停</td><td>で</td><td>は</td><td>な</td><td>く</td><td>、</td><td></td></tr> <tr><td>館</td><td>の</td><td>入</td><td>り</td><td>口</td><td>で</td><td>す</td><td>。</td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>博</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>物</td></tr> </table>	待	ち	合	わ	せ	場	所	は	、	バ	ス	停	で	は	な	く	、		館	の	入	り	口	で	す	。										博									物																					
ぼ	く																																																																																																					
は	、																																																																																																					
手	紙																																																																																																					
が	来																																																																																																					
。																																																																																																						
家	を	出	て	、	線	路	ぞ																																																																																															
い	に	歩	き	ま	し	た	。																																																																																															
。																																																																																																						
待	ち	合	わ	せ	場	所	は	、																																																																																														
バ	ス	停	で	は	な	く	、																																																																																															
館	の	入	り	口	で	す	。																																																																																															
								博																																																																																														
								物																																																																																														

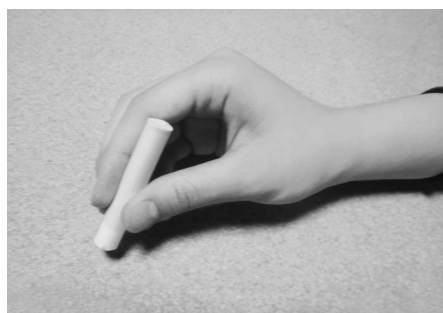
# 書写を知り 学び楽しむ



広瀬舟雲先生

講師の広瀬舟雲先生は、武蔵野大学教育学部児童教育学科教授、全国大学書写書道教育学会副理事長、書道芸術院展常任総務です。著書に「刻された書と石の記憶」、共著に「明解・書写教育」などがあります。

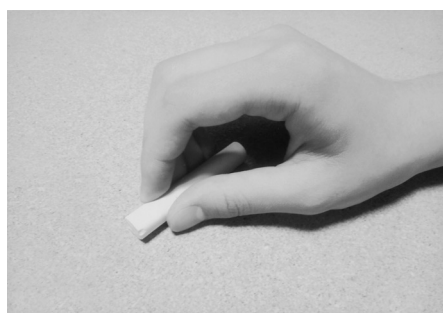
## 第6回 チョークの持ち方？



▲ 写真①



▲ 写真②



▲ 写真③

前の号を読まれた方は、エンピツの正しい（望ましい）持ち方が判ったかと思えます。あとはこの持ち方で実践あるのみです。がんばってください。

ところで、今回はちょっと方向を変え、みなさんが学校の教室などでよく見ている黒板のチョークの持ち方について述べましょう。

黒板に書くものといえば。白や黄・赤・青色のチョークですが、「これで正しい持ち方を知っていますか。」というところ、「チョークにも正しい持ち方なんかあるんですか？」という質問が逆に聞こえてきそうです。しかし実はあるのです。みなさんだけではな

く、チョークの正しい持ち方を知らない人の方が多いのではないのでしょうか。チョークに関しては、自分流で持っている人が実に多いのです。

そこで問題です。右にチョークを手に持ったようすの3つの写真を掲載しました。どの持ち方がチョークの正しい持ち方だと思いますか。

写真①エンピツと同じように持つ

写真②チョークを立てて頭部の上からつまむように持つ

写真③チョークを少し寝かせて側面を親指・人差し指・中指でつまむように持つ

「答えは、③です。つづく」

今 月 の ホ ー プ



小六 犬塚七夢 (雲母支部)

力強い筆使いでしっかり元気よく書けています。はね、はらいなども安定して構えも大きく立派です。



小五 深澤優心 (白菊書)

一点一画力強い筆運びで、スケールの大きい見事な作品です。字形も正しく整い安定感抜群です。

支部名	栄光
段・級	四上
学年	中二
氏名	金子 暖

現代はホームページを作成し、誰でも世界中に情報を発信することができ、時代となった。

中二 金子 暖 (栄光支部)

第一印象、広い世界が豊かに輝いている。次に、一字一画実に丁寧で、線が澄んで美しい。敬服します。

支部名	昌水
段・級	三上
学年	三
名前	赤羽根 莉子

町内の運動クラブに入りました。

小三 赤羽根 莉子 (昌水支部)

力強い線で書かれていて、字形も美しく作品全体が輝いています。集中力のすばらしさに感心します。

## 半切 1/2 部門 課題

小 1	う た	は し	小 6	誠 実	笑 顔
小 2	ゆ び	ま ち	中 1	星 座	感 動
小 3	子 犬	文 明	中 2	勝 利	古 典
小 4	平 安	真 心	中 3	将 来	景 観
小 5	和 紙	幸 福	中学生は楷書または行書		

## 「全国学生書道展指導者作品展示」

児童、生徒と同じ半紙サイズで、現代書の多様な表現、書の楽しさ幅広さを皆様にご覧いただいております。書道芸術院関係役員、学生展指導者、書塾指導者の皆様の積極的なご出品をお願いします。

### • 出 品 資 格

- 本展出品指導者
- 「書道芸術学生版」支部指導者
- 書道芸術院審査会員

### • 会 期

- 平成30年2月6日(火)～2月11日(日)

### • 会 場

- 第69回全国学生書道展会場  
(東京都美術館)

### • 作 品 寸 法

- 半紙額内自由  
( 額内寸 50 × 38 cm 以内 )  
( タテ・ヨコ自由 )

### • マクリのまま出品

(本院で一括表装依頼)

### • 出 品 料

- 15,000 円  
(1人1点、表装料・返送料含む)

### • 出 品 手 続 き

- 出品要項、出品票等を出品資格者へ別便にて送付する。
- 必要な方のご請求ください。

### • 出 品 締 切

- 平成29年10月18日(水)  
(学生展作品と同じ)

- 詳しくは別紙要項をご覧ください。

## 第71回書道芸術院展併催

# 第69回 全国学生書道展作品募集規定（抜粋）

会 期 平成30年2月6日（火）～2月11日（日） 9：30～17：30

（入場は30分前まで）

ただし、2月11日は14：00まで（入場は30分前まで）

会 場 東京都美術館（東京都台東区上野公園）

参加資格 第1部 幼児・小学生

第2部 中学生

第3部 高校生

第4部 大学生・専門学校生

（前回までの大賞受賞者は、同一部門内（例 第1部小学生部の内）においては招待出品とします。出品料は無料）

部 門 ① 半紙部門（たて34cm よこ25cm）

② 半切1/2部門（70cm×35cm）

（どちらの部門にも出品できます。）

	半紙部門	半切1/2部門
出品点数	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人何点でも出品できます。</li> <li>団体、個人とも10点以上で参加できます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人2点まで出品できます。</li> <li>団体、個人とも1点以上で参加できます。</li> </ul>
	※半紙と半切1/2のどちらかが規定数に達していれば出品できます。	
出品料	・1点 500円	・1点 1000円（一人2点まで）
募集作品	<ol style="list-style-type: none"> <li>書写、書道作品、字句は自由</li> <li>毛筆、硬筆など表現自由。</li> <li>幼小中学生は<u>学年氏名を本人が書く。</u></li> <li>高校、大学生は落款の体裁を整える。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>幼児・小・中学生は<u>別紙規定課題を書く</u></li> <li>高校、大学生は<u>課題自由</u>（創作または臨書）</li> <li>幼小中学生は<u>学年氏名を本人が書く。</u></li> <li>高校、大学生は落款の体裁を整える。</li> </ol>
作品大きさ	<ul style="list-style-type: none"> <li>普通の半紙版以内（たて長使用）</li> <li>（たて34cm よこ25cm以内）</li> <li>（この大きさ以内の小さいものは半紙に糊付）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小画箋半切1/2以内（70cm×35cm）</li> <li>幼児・小・中学生は縦長使用に限る（課題有）</li> <li>高校・大学生は縦横自由（創作臨書自由）</li> <li>（この大きさ以内のものは半切1/2に糊付）</li> </ul>
出品要領	<ol style="list-style-type: none"> <li>同一人の作品は左上をゼムクリップ止め</li> <li>作品の表に黒鉛筆で下記の①から⑤を記入                     <ul style="list-style-type: none"> <li>① 校名 ② 学年 ③ 名前</li> <li>（①～③は内申上位1割について記入）</li> <li>④ 団体番号 ⑤ 作品番号</li> </ul> </li> </ol> <p>※多数出品の場合も1枚ごとに全て記入 ※団体番号は出品予約申し込みにより通知。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>同一人の作品は左上をゼムクリップ止め</li> <li>作品の表に黒鉛筆で下記の①から⑤を記入                     <ul style="list-style-type: none"> <li>① 校名 ② 学年 ③ 名前</li> <li>（①～③は内申上位1割について記入）</li> <li>④ 団体番号 ⑤ 作品番号</li> </ul> </li> </ol> <p>※2点出品の場合も1枚ごとに記入 ※団体番号は出品予約申し込みにより通知。</p>



# 書道芸術学生版 秋季昇級試験規定

・毛筆  
・硬筆

一、しめきり日 10月9日(月)

一、発表 表 10月下旬

## 毛筆の部

一、課題

○試験は次の課題文字による。

幼・小学校一年生 つり(かいしよ)

〃 二年生 あき(かいしよ)

〃 三年生 大空(かいしよ)

〃 四年生 草花(かいしよ)

〃 五年生 合唱(かいしよ)

〃 六年生 見聞(かいしよ)

中学校一年生 純真(楷書か行書)

〃 二年生 応援(楷書か行書)

〃 三年生 環境(楷書か行書)

一、受験料 各部一点 五〇〇円

毛筆  
硬筆 } 共 一人一点

○受験料は、指定の振替用紙で締切日までに送金のこと。

一、書 体

○小学生は楷書(かいしよ)

○中学生は楷書または行書

一、清書には、「学年」「氏名」を受験生本人が毛筆で書く。(幼・小一の方は、

学年を書かなくてもよい)

一、受験票

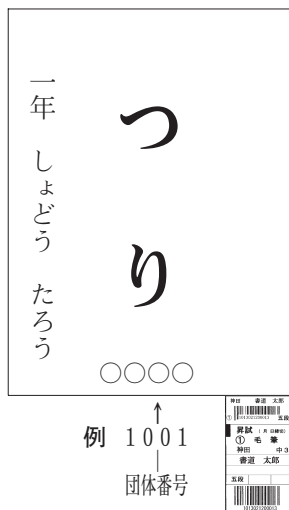
応募書類と同送される段級が印字された「昇級試験用」バーコード出品券を清書の右下にしっかりと貼付する。

(毛筆・硬筆共)

のりしろ	
神田 書道 太郎	
	① 1013021200013 五段
昇試 (10月9日締切)	
① 毛筆	
神田 中3	書道 太郎
五段	
	
1013021200013	

○応募書類は9月25日以後に、受験番号を記入した応募書類と「昇級試験用」バーコード出品券を送付する。

○左図のように記入して出品する。  
作品中央下に赤字で団体番号を記入する。



○くわしいきまりは、追ってお知らせいたします。

※10月号の購読部数を越える受験はできません。



小学 3 年

小三  
山本美子  
大空

川島舟錦先生

小学 2 年

小二  
山田めぐ  
あき

広瀬舟雲先生

小学 1 年

小一  
さとうあい  
つり

大平邑峰先生

小学 6 年

小六  
木下あき  
見聞

広瀬舟雲先生

小学 5 年

五年  
池田久志  
合唱

名越蒼竹先生

小学 4 年

小四  
浜本あい  
草花

名越蒼竹先生

中学 3 年

中学 2 年

中学 1 年

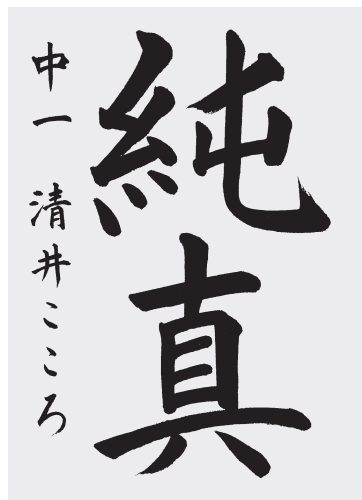
楷  
書



辻元大雲先生



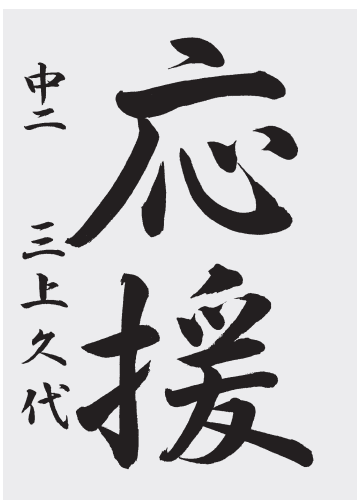
小竹石雲先生



種谷萬城先生



辻元大雲先生



小竹石雲先生



種谷萬城先生

行  
書

硬筆の部

- 一、くわしい規定は、「毛筆」と同じです。
- 一、用紙は、本院指定のものを使用するか、もしくは指定の用紙をコピーして、原紙の大きさにあわせて切って出品する。○学年相当の用紙で書く。

- 二、課題(各学年用) 参考手本は来月号に掲載します。
- 一、「空欄」「。」「、」も正しく書く。

一、課題

小学 1 年

支 部 名				
段・級				
学 年	一			
名 前				
	い	な		
	っ	が		
	ぽ	く		
	ん	ほ		
	み	そ		
	ち	い		
	。			

小学 2 年

支 部 名				
段・級				
学 年	一			
名 前				
	が	細		
	よ	長		
	く	い		
	見	は		
	え	っ		
	ま	ぱ		
	し	の		
	た	木		
	。			

小学 3 年

支 部 名				
段・級				
学 年	三			
名 前				
	し	調		
	て	べ		
	、	た		
	文	こ		
	章	と		
	に	を		
	し	整		
	た	理		
	。			

小学 4 年

支 部 名				
段・級				
学 年	四			
名 前				
	集	に	ふ	
	ま	は	れ	
	っ	、	あ	
	て	た	い	
	来	く	祭	
	ま	さ	り	
	し	ん	の	
	た	の	会	
	。	人	場	
		が		

- 一、清書には、「学年」「氏名」を受験生本人が書く。
- 一、幼・小一の方は学年を書かなくてよい。

例「○○○○」

- 支局、支部名は、本人が書けない場合はゴム印でもよい。
- 一、受験票は、応募書類と同送される段級が印字された「昇級試験用」バーコード出品券を清書の右下にしっかりと貼付する。

※10月号の購読部数を越える受験はできません。

支部名	の表に映りました。 い空や白い雲とともに、シャボン玉 庭の木々・芝生・垣根などが、青
段・級	
学 年	
中 ○	
名 前	
○ ○ ○ ○	

支部名	に ち、 一 変わ そ 番 る れ 星 こ が 弱 ろ 。 満 天 の 星 空 を 放
段・級	
学 年	
六	
名 前	
○ ○ ○ ○	

支部名	こ と を 知 り ま し た 。 録 の あ る 活 火 山 で あ る 富 士 山 は 、 ふ ん 火 記
段・級	
学 年	
五	
名 前	
○ ○ ○ ○	

秋季昇級試験で硬筆の部を受験される方は、本院指定の用紙（月例と同じ用紙）を使用するか、もしくは指定の用紙をコピーして、原紙の大きさにあわせて切って出品してください。

用紙は、一冊30枚つづり。送料を含んだ金額は下記の通りです。

◎硬筆用紙は、学年別に4種類あります。

- ① 幼・1年生用      ② 4・5・6年生用
- ③ 2・3年生用      ④ 中 学 生 用

料 金 表 (送料含む)

硬筆用紙 9冊以下 (1冊100円+送料)					
冊数	金額	冊数	金額	冊数	金額
1	245 円	4	615 円	7	1,000 円
2	405	5	800	8	1,100
3	515	6	900	9	1,250

10冊以上のご注文は、送料無料。

支部名	の表に映りました。 い空や白い雲とともに、シャボン玉 庭の木々・芝生・垣根などが、青
段・級	
学 年	
中 ○	
名 前	
○ ○ ○ ○	

秋季昇級試験

硬筆の部

を受験される方へ

# 漢字に親しもう

90

今月は小学6年硬筆課題から「料」を取り上げます。「料」は小学4年生で学習する漢字です。

## 料

音 **リョウ**

訓 **—**

部首 **斗**

画数 **10画**

筆順

なりたち

意味

斗(とます)の部



斗

• えのついたひしやくくえがいたもの。• 「斗の部」の字は、ひしやくくを使うことに関係がある。

米と斗(ひしやく)とを合わせた字。こくもつをはかることを表す。

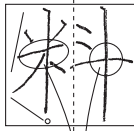
①ものをはかる。おしはかる。

②もとなる材料。

③はらうお金。代金。

書写のポイント

(小学館 例解学習漢字辞典より)



左をすこし広く  
許容 斗の止め

※書写の時に「斗」とならないように、点はたてに書いて下さい。

今回は「料」の文字をとりあげました。この文字はたて線に注意して書くことですが、「斗」の点の位置が「斗」のように横に並んでしまう人がいます。ましがいのないようして下さい。

解説

## 編集余録

○第69回全国学生書道展作品募集規定が出来上がり、指導者の先生方に送りました。半紙の部と半切1/2の部がありますので、ぜひ多くの皆さんに参加してもらいたいと思います。今までの出品したことのない団体の先生で希望する場合は事務局にお問い合わせください。また、よくわからない場合なども事務局にお問い合わせください。

○今回、硬筆の競書を審査させていただきました。皆さんの一生懸命に書いている姿が目につかぶようでした。真剣なあまり汗で紙が汚れてしまったような競書もありました。書いてたところに紙を1枚あてて書くと自分の手も競書も汚れないのでためしてみてください。注意してほしいことですが、低学年の競書で、句読点の位置がおかしいものがありました。マスの中、右上に書いてください。もう一つですが、書いた後に必ず読み返してください。文字が抜けているものがありました。(豪峰)